

地球のために、フロン対策

日時：2017年6月17日(土)
10:00~15:00(9:30開場)

場所：国連大学 ウ・タント国際会議場
※同時通訳(日本語・英語)あり

参加
無料

フロン対策
に関するパネル
や機器の展示も
あります！

フロンは、エアコン、冷蔵・冷凍庫の冷媒や、建物の断熱材、スプレーの噴射剤など、身の回りの様々な用途に使われていますが、地球環境に対して二つの影響をもたらすことがわかっています。

一つは、オゾン層の破壊です。オゾン層の保護に世界全体で取り組むため、CFC(クロロフルオロカーボン)、HCFC(ハイドロクロロフルオロカーボン)などのオゾン層破壊をもたらすフロンなどを規制するためのモントリオール議定書が1987年に採択され、今年で30周年を迎えます。1980年代以降に拡大した南極のオゾンホールは拡大傾向がみられなくなるなど、一定の成果をあげていますが、依然として深刻な状況にあり、引き続き対策が必要です。

もう一つは地球温暖化への影響です。CFCやHCFCの代替フロンとして、HFC(ハイドロフルオロカーボン)が広く使われるようになりましたが、HFCはオゾン層破壊物質ではない一方で、地球温暖化をもたらします。このため、HFCをモントリオール議定書の対象物質に加える改正(HFC改正)が2016年10月に採択され、地球温暖化防止の観点から、フロン対策を加速する必要があります。

モントリオール議定書採択30周年とHFC改正を記念した本シンポジウムでは、有識者による講演やパネルディスカッションなどを通じて、フロン対策の重要性について理解を深めたいと思います。

◆プログラム◆

10:00~15:00 (9:30開場)

基調講演 ~議定書の成果とHFC改正~ 関 めぐみ (国連環境計画オゾン事務局次長)

特別講演 ~地球温暖化問題について~ 野口 健 (登山家)

パネルディスカッション

テーマ：フロン対策の推進のために今できること

コーディネーター：西園 大実 (群馬大学教授)

パネリスト：中根 英昭 (高知工科大学教授)、

国連環境計画アジア太平洋地域事務所、一般社団法人日本冷凍空調工業会、

一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会、日本チェーンストア協会、環境省



©Ken Noguchi Office



◆アクセス◆



国連大学：
東京都渋谷区神宮前5-53-70
JR渋谷駅から徒歩10分、
または地下鉄表参道駅（銀座
線、半蔵門線、千代田線）
B2出口から徒歩5分です。

◆参加申込方法◆

定員：300名(先着、事前申込制)

右のQRコードまたは
<http://www.mri.co.jp/montreal30>
から申込フォームにアクセス
して、必須項目を入力してく
ださい。



主催：環境省
Ministry of the Environment

●お問合わせ●
シンポジウム事務局(株)三菱総合研究所
TEL: 03-6705-6194
Eメール: montreal30-ml@mri.co.jp